

特許特化型AI活用ツールによる技術動向分析と技術開発テーマ提案の比較調査

エグゼクティブサマリ

製造業・化学・電子機器の「技術動向分析→自社が取り組むべき技術開発テーマ提案」にすぐ使える観点で比較すると、①日本語で特許本文を“読む”負担を減らし用途・課題軸で可視化できる **Patentfield AIR**（国内即応）、②特許+論文を横断して“企業・技術スカウティング”を自動化しやすい **PatSnap Eureka Scout**（探索・継続監視）、③大規模解析（最大件数）とNPL連携・APIを含む“定量ランドスケープ”に強い **Questel Orbit Intelligence + Sophia**、④DWPI等の人手で整備された要約・付加価値データとThemeScape概念マップで“ノイズ低減×俯瞰”に強い **Clarivate (Derwent系)** が主軸になります。①
オープンデータ基盤として **Lens.org** を併用すると、特許と学術文献のリンク探索やAPI活用の自由度（ただし商用利用条件に注意）が高まり、調査の再現性・拡張性を補完できます。②
標準規格やSEPが勝負を左右する領域（通信・車載コネクテッド等）では **IPlytics**、引用ネットワーク起点で“取りこぼし”を減らす補助検索として **Ambercrite** を組み合わせる構成が現実的です。③

比較表

下表は、要求条件（特許データ件数制限、論文連携、自然言語生成、クラスタリング/マップ、エージェント型スカウティング、API/バッチ、言語）を中心に「テーマ提案に直結する実務適合」で整理した要約版です。根拠は各社公式資料・ベンダー資料・公的機関の公開情報・ケーススタディに基づき、**価格や非公開仕様は未記載または“未公開”**と明示しています。④

ツール	主データ (特許/ 論文等)	最大件数/制 限 (公表ベ ース)	自然言 語生成 (要 約・提 案)	可視化 (クラ スタ/マップ/推 移)	自律ス カウティ ング (監視/ アラ ート)	API/バッチ	日本語 対応	導入事 業名・ ワーク 要点)
Patentfield AIR	日米欧中 韓台WO 含む「約 8000万 件」対象 に、日本 語で要 約・分類 ラベル (用途/ 課題等) を付与す るオブ ション (AIサマ リーグ ローバル 等)。 5	解析上限 (検 索結果上限/ エクスポート 上限) は未公 開 (公開情報 からは判定不 可)。 6	AIRは 「生成 AIでレ ポート 生成」 「抽出 項目の カスタ ム」 「根拠 提示 (出 典)」 「追加 質問→ 深掘 り」の 想定。 7	可視化 (マッ プ/プリセット チャート) + 用途・課題 マッピング (ラベル分 析) を前提に 設計。 8	SDI等の 分類予 測・自 動仕分 け、API 連携で 運用自 動化が 可能 (オブ ション)。 8	API連携オブ ション (保 存検索条件 やタグ等の 呼び出し) あり。 9	日本語 ネイ ティブ (要約 も日本 語提 供)。 10	コニカ タビジ ソシエ 株式会社 SDI効率 30~40 削減+ 携で稼 上。 9 クシー テクノ ズ株式 12 : 9 に即共 る検索 調査ハ 低下。 株式会 ばく 1 +可視 門横断 進みSD が明確 9

ツール	主データ (特許/ 論文等)	最大件数/制 限 (公表ベ ース)	自然言 語生成 (要 約・提 案)	可視化 (クラ スタ/マップ/推 移)	自律ス カウティ ング (監視/ アラ ート)	API/バッチ	日本語 対応	導入事 業名・ ワーク 要点)
PatSnap Eureka Scout	特許+論 文を横断 し、AI エージェント群で 技術調 査・競 合/企業 スカウ ティン グ・モニ タリング を支援。 論文は 100M+、 特許は 200M+規 模の記載 あり。 15	モジュール別 の上限 (検 索・エク スポート) は未 公開。	競合追 跡、ト レンド 分析、 レポー ト生成 などの AI機能 が前提 (実装 は製品 群/ エー ジェン ト単 位)。 16	監視ボード/ト レンド分析、 レポート出力 などを前提。 16	Scoutは 「競合 追跡 (ア ラー ト)」「 技術 トレ ンド分 析」「 組織 プロ ファイ リン グ」等 を掲げ、 公開前 の活動 推定に も言 及。 17	APIは別ライ ン (Innovative Open Platform 等) で提供 される旨が 示される (条件は要 問合わせ)。 18	UI日本語は代 理店情 報等で 言及さ れる が、公 式の全 体仕様 は要確 認 (少 なくと も多言 語デー タを扱 う設 計)。 19	Oxiter 複数DE 特許・ 規制デ ータ一 箇所 ワイト ス探索 分析・ ラート 21 / Takas Intern Corpo 22 : トスペ 定、競 要特許 握、特 場文脈 置づけ 迅速化 Elica S 24 : メール ト+異 む広い カウテ →提携 (相手 公開)

ツール	主データ (特許/ 論文等)	最大件数/制 限 (公表ベ ース)	自然言 語生成 (要 約・提 案)	可視化 (クラ スタ/マップ/推 移)	自律ス カウティ ング (監視/ アラ ート)	API/バッチ	日本語 対応	導入事 業名・ ワーク 要点)
Lens.org	特許デー タ (100+法 域のフル テキスト 等) +学 術文献を リンク し、分析 APIも提 供。商用 利用には 許諾/契 約が必 要。 ²	API (Team 例) : 1リク エスト最大 10,000件、 月100万ド キュメント、 レート5req/s 等。 ²⁷	生成AI による 要約/ 提案は 標準機 能とし ては限 定的 (主戦 場は検 索・分 析・リ ンク探 索)。	可視化・分析 は可能だが 「コンサル型 の自動テーマ 提案」より“素 材提供”寄り。	自律監 視は実 装/設定 次第 (API+ 自前 バッチ で可 能)。	Lens APIあ り (研究/商 用条件あ り)。 ²⁸	UIは主 に英 語。多 言語検 索・翻 訳支援 は用途 次第で 要検証 (日本 語UI保 証は限 定 的)。 ²⁹	公開の 例は限 (研究 用が多 向)。

ツール	主データ (特許/ 論文等)	最大件数/制 限 (公表ベ ース)	自然言 語生成 (要 約・提 案)	可視化 (クラ スタ/マップ/推 移)	自律ス カウティ ング (監視/ アラ ート)	API/バッチ	日本語 対応	導入事 業名・ ワーク 要点)
Clarivate (Derwent Patent Search/ Analytics/ ThemeScape 等)	DWPI等 の人手で 整備され た要約・ 索引+AI 検索、76 法域フル テキスト 、 70M+要 約などを 明示。 31	ThemeScape は (記事ベ ース) 最大300 万件マップが 可能とされ る。 32	生成AI という より 「人手 要約 ×AI検 索×分 析」で テーマ 抽出の 精度/ 説明可 能性を 上げる 設計。 33	ThemeScape 等の概念マ ップでクラ スタリ ング可。実 務では特許約5 万ファミリ ーを用 途テキ ストで テキ スト マイ ニング し 用途 を 抽出 した 例が 公的 資 料に ある。 34	Derwent Patent Monitor は監視/ レ ビ ュー の ワー ク ス ペ ー ス 化 と AI 脅 威 分 析 を 掲 げ る (FTO/ 監 視)。 35	データ フィ ード/ API 提 供 カ テ ゴ リ が 存 在 (詳 細 は 契 約 次 第)。 36	日本語 含む多 言語環 境は地 域展 開 あり (た だ し 具 体 の UI/ サ ポ ー ト 範 圍 は 契 約 で 要 確 認)。	旭化成 社 37 略組織 し、DV +検索 ツール 資 戦 略 等 を 含 ま ず 支 持 た め に ド ス ケ 運 用 (年 で 10 ロ ジ エ 等)。 Pure Storag 39 : +分 析 ト フォ 理・防 の 高 度 (ケ ー 料)。 Weste Digita Corpo 41 : デー タ 決 定 が る 旨 の (DPA ジ)。

ツール	主データ (特許/ 論文等)	最大件数/制 限 (公表ベ ース)	自然言 語生成 (要 約・提 案)	可視化 (クラ スタ/マップ/推 移)	自律ス カウティ ング (監視/ アラ ート)	API/バッチ	日本語 対応	導入事 業名・ ワーク 要点)
Questel (Orbit Intelligence + Sophia)	特許 + NPL (150M 科学出版 物等) を 統合、概 念抽出・ クラスタ リングや ホワイト スペース 分析、可 視化 (定 型チャー ト) を提 供。 ⁴⁴	ライブ解析最 大200万件、 保存解析最大 3万件と公 表。 ⁴⁵	Sophia は生成 AIで自 然言語 検索、 要約 (多言 語)、 クレー ム特徴 マッピ ング等 の“定 型洞察 生 成”を 掲げ る。 ⁴⁶	可視化・ドリ ルダウン・ チャートカス タム等を掲げ る (日本語 ページでも説 明)。 ⁴⁷	Sophia は「AI agent」 として位 置づけ られ、 検索/分 析/サマ リ生成 を横断 提供。 ⁴⁸	Data Scope にGateway APIが明記。 ⁴⁹	日本語 ペー ジ・日 本語 KBが あり、 サポー トは 10+言 語の記 載。 ⁵⁰	Luxem Institu Scienc Techn ⁵¹ : 長期利 Sophia 自然言 語・文 解・FT きが効 する証 ⁵² / Inc. ⁵³ 年利用 中心表 用検索 価 (Q 事例) World Intelle Prope Organ ⁵⁵ : 食品分 許ラン ケーブ Orbitの とQue 析を Dashb で提供 追跡可 たと説 ⁵⁶

ツール	主データ (特許/ 論文等)	最大件数/制 限 (公表ベ ース)	自然言 語生成 (要 約・提 案)	可視化 (クラ スタ/マップ/推 移)	自律ス カウティ ング (監視/ アラ ート)	API/バッチ	日本語 対応	導入事 業名・ ワーク 要点)
Iplytics (LexisNexis)	SEP・標 準文書・ 標準化貢 献データ に強み。 必須特許 の競争環 境やライ センス/ 交渉に直 結する分 析用途を 明示。 ⁵⁸	上限は未公開 (領域特化 DBのため“件 数”より網羅 性/正規化品 質が重要にな りやすい)。	生成AI 要約/ テーマ 提案よ り、 SEP/標 準×特 許の整 備デー タとス コアリ ング (例： 必須性 予測) による 意思決 定支援 が中 心。 ⁵⁹	競争環境、標 準貢献、未宣 言必須特許推 定などのダッ シュボード機 能が示され る。 ⁶⁰	標準化 投資や 競争の 継続監 視 (貢 献数 等) 用 途を明 示。 ⁶¹	APIは明示情 報が限定的 (サポート/ 契約で要確 認)。	言語は 英語中 心だが 多言語 展開は 示唆 (日本 語文書 →英訳 などの 言及あ り)。 ⁶²	報道ベ 顧客名 される (例 スター ブ媒体 だし公 スタ しての 要確認
Ambercite	引用ネッ トワーク に基づく 類似特許 探索 で“取り こぼし発 見”を狙 う補助 ツール。 WIPO ページ で、補完 ツールと して検索 品質を 12~46% 改善した 独立テス ト言及。 ⁶⁵	上限は未公 開。	NLGで テーマ 提案と いうよ り、引 用起点 のラン キン グ/ ネット ワーク 理解が 中心。	引用関係の可 視化・探索 (Amberscope 等)を主軸に 展開。 ⁶⁶	競合監 視 (類 似特許 の新着 抽出) を提供 可能とす る事例 記事あ り。 ⁶⁷	API公開情報 は限定的。	WIPO Inspire 上のUI 言語は 英語。 ⁶⁸	Strava ⁶⁹ ; ニタリ 文脈で 特許を に“新着 特許の 能を説 (ケー 事)。

比較表CSV (コピペ用)

tool,primary_data,limits_public,nlg_summary_theme,clustering_visualization,agentic_scouting,api_batch,japanese_su
Patentfield AIR,"JP+US/EP/CN/KR/TW/WO; ~80M patents with JP summaries +
labels",Undisclosed,"Yes (report generation, configurable extraction, evidence-backed deep
Q&A)", "Maps + preset charts + use-case/problem mapping via labels",Yes (classification
prediction for SDI; automation via API option),Yes (API option),Yes,"Konica Minolta Business
Associates (SDI -30~40%); Pixie Dust Tech (fast sharing); Hakubaku (cross-org sharing)",Price
example public (Corp-XS 5ID 30,000 JPY/mo; option 30%); legal risk management needed
PatSnap Eureka Scout,"Patents + papers; 202M+ patents (analytics); 100M+ papers (Eureka FAQ);
2B+ data points (Eureka)",Undisclosed,"Yes (AI agents for scouting/reporting/
analysis)", "Trend dashboards; reports; monitoring board",Yes (alerts/competitor tracking;
scouting),Partial (APIs via Open Platform etc),Partial/Needs confirmation,"Oxiten
(chemicals: whitespace, alerts, strategy); Takasago (chem: whitespace, competitor
importance); Elica (partner discovery; weekly alerts)",Best for diverging discovery +
continuous monitoring
Lens.org,"Patents 100+ jurisdictions + scholarly works link; Lens API",API Team: up to 10k
per request; 1M docs/month; rate limits,"Limited (platform is more search/link/
analytics)", "Analytics possible; DIY dashboards via API",DIY (via API/jobs),Yes (Lens API;
commercial terms apply),Limited (mostly English UI),"Primarily research/institutional usage
(public corporate workflows limited)",Best as open, reproducible baseline + integration
backbone; commercial use license needed
Clarivate Derwent,"DWPI curated data + AI tools; 70M+ invention summaries; 76 jurisdictions
full text; analytics 155M+ records",ThemeScape up to 3,000,000 records (support
article),"Indirect (human summaries + AI search/analytics)", "ThemeScape concept maps +
analytics visuals",Yes (Derwent Patent Monitor for monitoring/FTO workflow),Yes (data feeds/
APIs category),Partial/Needs contract detail,"Asahi Kasei (IP strategy group; investment/M&A
support); Pure Storage (portfolio mgmt/defense)",Best for high-confidence landscape + concept
maps; enterprise licensing
Questel Orbit + Sophia,"Patents + NPL (150M publications); analytics + GenAI assistant
Sophia",Live analysis up to 2,000,000; saved up to 30,000,"Yes (NL search, enhanced summaries
multi-language, claim-feature mapping)", "Auto concept extraction + clustering; customizable
charts",Yes ("AI agent" positioning; alerts; dashboards),Yes (Gateway API),Yes (JP site + KB;
10+ language support),"LIST (daily use; Sophia improves doc comprehension/FTO pre-reads);
Autoliv (usability, citation search); WIPO agrifood dashboards",Best for quantitative
landscaping + GenAI support; follow AI policy/disclaimers
IPlytics,"SEPs + standards documents + contributions; SEP & standards
analytics",Undisclosed,"Limited (focus on curated analytics/scoring)", "Dashboards;
competitiveness & essentiality scoring; undeclared patents approach",Yes (monitor standards
contributions/competition),Undisclosed/Contract,Partial/Needs contract detail,"Public
customer names mostly via media; official use cases: licensing/pools/negotiation",Best for
standards-driven domains; beware declared-SEP bias
Ambercite,"Citation-based similarity search + visualization",Undisclosed,"No/limited (not
primary)", "Citation network visualization; similarity ranking",Partial (competitor monitoring
articles),Undisclosed,"English UI per WIPO Inspire", "Strava competitor monitoring case
article; WIPO lists quality improvement 12-46% in independent tests",Use as complementary
tool to reduce missed prior art and expand seeds

ツール分析

Patentfield AIR

何が“すぐ使える”のか（テーマ提案に直結するポイント）

Patentfield AIRは、単なる検索UIではなく「生成AIで調査・分析レポートを生成し、そのレポートを手がかりに追加質問で深掘りする」使い方を想定した構成です。⁷ また、AIサマリーグローバル等により、海外主要国の公報も日本語の独自要約と分類ラベル（用途・課題ラベル）で扱えるため、技術者・事業側を巻き込んだテーマ検討（部門横断の発散→収束）が組みやすいのが強みです。¹⁰

機能（要求項目との対応）

特許データは日米欧中韓台WOを含む約8000万件に対して、生成AIが日本語で要約・構造化したデータを提供すると明記されています。¹⁰ さらに、用途・課題ラベルを使った“用途・課題マッピング”が可能で、テーマ提案の典型形（市場課題×技術手段のホワイトスペース）に落とし込みやすい設計です。⁷¹

運用面では、API連携オプションが「保存した検索条件、分類予測データ、ユーザータグ、評価値の呼び出し」を可能にするとされ、SDI/ウォッチの自動化や“社内テーマ分類”との結合が現実的です。⁹

出力例（実務でそのまま使える形）

AIRは、レポート生成時に「参照した特許情報の一覧」「根拠となる構成（出典）」を表示し、出力を“監査可能なレポート”として残す思想が読み取れます。⁷

またAIサマリーグローバルは、①日本語要約＋分類ラベル、②日本語で海外特許検索、③分類ラベルを使ったグローバル用途・課題マッピングを特徴として挙げています。¹⁰

導入事例（ワークフローの具体）

SDI業務の仕分けを効率化し、30～40%の工数削減、さらにAPI連携で稼働率向上という具体効果が掲載されています。⁹ ほかにも、ミーティング中の即時共有や、社内掲示板での横展開（部門外フィードバック増）といった“R&Dテーマ提案に必要なコミュニケーション”を後押しする記述があります。⁹

価格帯（公開情報）

AIサマリーグローバルは、法人向けCorpプラン（5ID～）で契約し、オプション料金は「アカウントID月額の30%」、計算例としてCorp-XS（5ID）月額3万円→オプション月額9千円という例が公開されています。¹⁰

PatSnap Eureka Scout

何が“すぐ使える”のか（テーマ提案に直結するポイント）

Eureka Scoutの価値は、発散フェーズのボトルネック（「特許＋論文＋臨床＋ニュース等を総当たりで追う」）を、“継続監視＋スカウティング”として定常運用に落とし込む点にあります。競合追跡（アラート）、技術トレンド分析、組織プロファイリング、提携/ディール監視、出版物・臨床の追跡などを“Key Features”として明記しています。⁷²

さらに、複数データソースのパターン分析によって「特許公開前に競合が何をしていたか」を予測できると述べており、“テーマの芽”の早期検知に寄せた設計思想が読み取れます。¹⁷

データ連携（特許・論文）

EurekaのFAQでは論文データについて「100 million papers超」かつMAGやCrossref等のソース、DOIカバレッジ面の利点を説明しています。⁷³ 特許側は、同社Analyticsページで「202M+ patents」と明記されず。⁷⁴

出力例（実務でそのまま使える形）

Eureka製品ページでは、AIエージェント群として「Quick Research（技術スカウティングレポート生成）」「Monitor Landscape（最新動向のブリーフィング）」などが列挙され、レポート/ブリーフィング型の出力

が前提です。⁷⁵ また、Eureka Scoutの説明では「競合追跡のアラート」等が明示され、定常の“技術リーダー”として使える形です。¹⁷

導入事例（企業名・業界・ワークフローの具体）

化学・素材のOxiten²⁰では、複数DB利用の非効率を、特許・化学・規制データを一箇所に統合して解決し、ホワイトスペース探索や競合分析、アラート設定、事業戦略へフィードする運用が示されています。²¹ Takasago International Corporation²²では、ホワイトスペース特定と“競合特許の商業的な重要度”の見極めに有用だったこと、従来は基本検索で抽象+本文から情報を拾っていたのが、より速く位置づけを理解できるようになったことが述べられています。²³ Elica S.p.A.²⁴では、週次メールアラートで競合の新規特許を追い、異業界（例：自動車）まで含めた広い探索でパートナー候補を見つけ、実際に提携に至ったと説明しています（提携相手名は非公開）。²⁵

ワークフロー例

ここでは「一般製造業・化学・電子機器」を想定し、**発散→収束の二段階**で、各ツールをどう組み合わせると「技術動向分析→開発テーマ提案」に落ちるかを、実務の型として提示します。WIPOのランドスケープ事例でも、ライブダッシュボードとして継続追跡できる形で提供したと説明されており、「一回レポート」ではなく「更新される意思決定基盤」へ寄せるのが現実的です。⁷⁶

導入フロー図（Mermaid）

flowchart TD

A[目的定義：事業課題/技術領域/期間/法域] --> B[発散：データ収集と拡張]

B --> B1[Seed作成：既存製品/不具合/材料/規格/競合]

B --> B2[特許+論文検索：NL検索/セマンティック/分類]

B --> B3[自動クラスタリング：概念/用途・課題/技術要素]

B --> B4[継続監視：アラート/定点観測]

B4 --> C[収束：テーマ化と優先順位付け]

C --> C1[クラスター解釈：技術要素×用途×競合]

C --> C2[ホワイトスペース仮説：未充足用途/技術ギャップ]

C --> C3[テーマ提案：3-10件に絞る]

C --> C4[FTO/先行技術：障害リスク確認]

C --> D[意思決定：開発ロードマップ/PoC/出願方針]

発散フェーズ（広く拾う）

ゴール：漏れを抑えつつ、探索母集団（特許+論文+周辺データ）を“説明可能な形で”大きく作る。
実務の構成は次の通りです。

1) Seedの作り方（最初の問いの言語化）

- ・「用途（市場課題）×制約（コスト/安全/規制/製造）×技術手段（材料/構造/制御）」で2~3文に落とす。
- ・既存製品の不具合・規格要件・競合の新製品など、**社内で“説明できる起点”**をSeedにする。

2) 検索・拡張のやり方（ツール割り当ての目安）

- ・Patentfield AIR：日本語で要約・分類ラベル（用途・課題）を付け、用途・課題マッピングに直結させる（国内中心の短サイクル探索）。⁷⁷

- PatSnap Eureka Scout：競合/技術スカウティングをアラート運用込みで継続化し、特許+論文+周辺情報から“芽”を拾い続ける。⁷⁸
- Questel Orbit + Sophia：大量件数を前提に概念抽出・クラスタリング、かつNPL（150M出版物等）を横断して母集団を整備。ライブ解析2M件という上限の明記があり、定量俯瞰に向く。⁷⁹
- Clarivate（Derwent）：DWPI等の要約・索引でノイズを抑え、ThemeScape等の概念マップで俯瞰しながら“塊”を掴む（人手要約を強みにする）。⁸⁰
- Lens.org：オープン基盤として、特許と論文のリンク探索・APIでの再現可能分析の“土台”にする（商用利用条件に注意）。²

収束フェーズ（テーマ提案に落とす）

ゴール：クラスター（技術の塊）を、事業価値・自社優位性・知財リスクでスコア化し、開発テーマ（3～10件）に絞る。

1) クラスター→テーマへの変換テンプレ

- クラスター名（仮）：例「耐熱・高熱伝導ギャップフィラー（低粘度）」
- 主要用途：xx（車載パワエレ放熱）
- 競合密度：高/中/低（主要出願人、出願増加率）
- 自社勝ち筋仮説：保有材料・工程・顧客基盤
- リスク：阻害特許の集中、規格/SEP依存、必須試験、製造コスト

2) “提案”の出力形を揃える

- Patentfield AIRはレポート生成+根拠提示が前提で、テーマ提案書のドラフトとして転用しやすい。⁷
- Questel Sophiaは「多言語要約やクレーム特徴マッピング等の定型洞察生成」を掲げており、クラスターごとの“説明文”を作りやすい。⁸¹
- Derwent系は人手要約+概念マップで、経営層に説明しやすい“俯瞰図→論理ストーリー”を作りやすい（旭化成の事例で、投資戦略・M&A等の意思決定基盤に使ったと明記）。⁴³

サンプル出カイメージ

マインドマップ（例：技術テーマの分解）は、要約・ラベル・キーワード抽出の結果を「用途→課題→技術手段→評価軸」に並べることで、発散結果の議論が速くなります。ワードクラウドやキーワード頻度と合わせると、会議中の合意形成がしやすくなります。⁸²

クラスターマップ（例：技術俯瞰の等高線/散布図）は、公開資料でも「Derwent InnovationのThemeScapeを使い、約5万ファミリーの用途テキストでテキストマイニングし、主要用途を決定した」旨が公的に説明されています。³⁴ ここで重要なのは「山（密度）＝重要」ではなく、“山の意味づけ”がテーマ提案の質を決める点です（自社の戦略仮説で山にラベルを貼る）。⁸³

年次推移・キーワード頻度グラフ（説明用ダミー）

上の2つのグラフは「出願年次推移」「キーワード頻度」の可視化イメージ（ダミーデータ）です。実務では、同様のグラフをクラスター別（例：材料系/構造系/制御系）・法域別・出願人別・引用成長率別などに分解し、“伸びているが競合密度が低い領域”を候補テーマとして抽出します。⁸⁴

導入時の注意点とROI概算モデル

注意点（データ品質・バイアス・法務・コスト）

データ品質（名寄せ・要約・分類）

定量比較やテーマ抽出は、名寄せ・ファミリー統合・要約品質に強く依存します。旭化成の事例でも、DWPIの要約が「分析に必要な要素（新規性・用途・利点等）を項目別に整理している」ことが分析効率の要因として述べられています。³⁸ 一方、生成AI要約は便利でも、誤要約や抜けがあり得るため、重要テーマほど一次情報（クレーム・実施例）への遡及が必要です。⁸⁵

バイアス（特にSEP/標準領域）

SEPは“宣言”が前提となるため、宣言行動・企業戦略・制度要因のバイアスを受けます。IPlytics関連の議論でも、方法論の透明性や、宣言データの性質を踏まえた解釈の必要性が指摘されています。⁸⁶

法務・コンプライアンス（利用条件/AIポリシー/権利関係）

- Lens.orgは商用利用に関する許諾/契約が必要である旨を明記しています（利用条件の確認が必須）。⁸⁷
- QuestelはOrbitのAIツール利用に関する免責・第三者プロバイダー等に触れる日本語KBを提供しており、社内規程（機密・個人情報・出力の二次利用）と整合させる必要があります。⁸⁸
- 生成AI機能を含む特許系サービスは、知財権侵害や差止・損害賠償などの争いが生じ得るため、契約条項（保証・免責・補償）と、社内での利用範囲（成果物の社外共有など）を明確化すべきです。¹⁴

コスト（失敗コストを先に小さくする）

価格が非公開の大手商用DBは多いため、最初から全社導入ではなく、①高インパクト領域（例：次世代材料/車載/電池）に限定したPoC、②KPI（時間短縮・テーマ採択率・FTO事故防止）を定義してからスケールする方が現実的です。⁸⁹

推奨導入規模とROI概算モデル（推定モデル）

価格や効果が非公開の部分が多いため、ここでは“**社内で計測可能な変数だけ**”で組める概算モデルを提示します（数値は各社で置き換え）。

ROI（年次）の基本形

- 便益（円） =
 - （特許/論文調査工数の削減時間）×（人件費/h）
 - +（外注調査・コンサル費の削減）
 - +（意思決定の前倒しによる機会価値：例：開発着手1か月前倒し×粗利寄与×確度）
 - +（FTO/阻害特許見落としリスク低減：期待損失の減少）
- コスト（円） =
 - ライセンス費＋導入支援費＋運用（テンプレ/分類辞書整備）工数
- ROI =（便益-コスト）/コスト

推奨導入規模（一般製造業の目安）

- **スモールスタート（8～12週）**：知財2名＋技術3名＋事業1名（6名程度）で“テーマ候補10→3”を2サイクル回す。
- **スケール（3～6か月）**：SDI/アラート運用を組み込み、月次でテーマ棚卸し（候補→PoC→出願方針）を回す。

- ・**全社（6～12か月）**：部門ごとのテーマ分類（Taxonomy）を共通化し、API/バッチで“定点観測”を自動生成する（Lens APIやPatentfield API、Questel Gateway API等の活用が射程）。⁹⁰

結論と推奨ユースケース

推奨構成（製造業・化学・電子機器を想定）

- ・日本語で即戦力のテーマ出し（社内合意形成が最優先）：Patentfield AIR
- ・日本語要約＋用途/課題ラベル＋可視化で「議論できるアウトプット」を最短で作りやすい。⁹¹
- ・探索の発散と継続監視（競合/提携探索も含む）：PatSnap Eureka Scout
- ・競合追跡・アラート・トレンド分析で“芽”を取り続け、テーマ候補の母集団を枯らさない。⁹²
- ・大規模な定量ランドスケープ＋生成AI支援（2M件俯瞰やNPL 150Mを活かす）：Questel Orbit＋Sophia
- ・上限を明示した大規模解析と、要約・多言語・クレーム特徴マッピング等の定型洞察生成が両立。⁹³
- ・“ノイズの少ない俯瞰図”で経営判断に繋ぐ（人手要約・概念マップ）：Clarivate（Derwent系）
- ・旭化成のように、IPランドスケープを投資戦略・M&A等の意思決定に接続した運用が公開されている。⁴³
- ・補完：Lens.org（再現可能分析・API基盤）、IPlytics（標準×SEP領域）、Ambercite（引用起点の取りこぼし低減）。⁹⁴

最終提案（すぐ使う順）

- 1) まずは「発散→収束」を2サイクル回せる体制を作り、アウトプットの型（テーマ提案書テンプレート）を固定する。⁹⁵
- 2) 調査の入口は、社内合意形成が速いツール（Patentfield AIR）で回しつつ、継続監視・探索の供給源をPatSnap Eureka Scout/Questel Orbit（アラート・ダッシュボード）で構築する。⁹⁶
- 3) 経営層向けの“俯瞰図”が必要になった段階で、Derwent系（ThemeScape等）やOrbitの大規模可視化を使い、投資判断に耐えるストーリー（山の意味づけ）を作る。⁹⁷

¹ ⁷ ¹¹ ⁵⁵ <https://support.patentfield.com/portal/ja/kb/articles/patentfield-air-%E7%94%9F%E6%88%90ai%E8%AA%BF%E6%9F%BB-%E5%88%86%E6%9E%90%E3%82%AA%E3%83%97%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3>
<https://support.patentfield.com/portal/ja/kb/articles/patentfield-air-%E7%94%9F%E6%88%90ai%E8%AA%BF%E6%9F%BB-%E5%88%86%E6%9E%90%E3%82%AA%E3%83%97%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3>

² ²⁹ <https://support.lens.org/knowledge-base/lens-patent-and-scholar-api/>
<https://support.lens.org/knowledge-base/lens-patent-and-scholar-api/>

³ ⁵⁹ <https://www.lexisnexisip.com/resources/lexisnexis-expands-its-intellectual-property-solutions-suite-with-the-acquisition-of-iplytics/>
<https://www.lexisnexisip.com/resources/lexisnexis-expands-its-intellectual-property-solutions-suite-with-the-acquisition-of-iplytics/>

⁴ ⁵ ¹⁰ ⁷¹ ⁷⁷ ⁸² ⁹¹ <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000060.000025380.html>
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000060.000025380.html>

⁶ <https://product.patentfield.com/air>
<https://product.patentfield.com/air>

⁸ ⁹ ³⁹ ⁵³ <https://evort.jp/presentations/patentfield/platform>
<https://evort.jp/presentations/patentfield/platform>

- 12 61 64 69 https://www.les-france.org/f/4efbed4cfbe6f2c63748ce1203f075bee2e294bf/The%20EU%20SEP%20Regulation%20and%20Empirical%20Evidence%20on%20SEP%20Licensing%20Challenges_TP_IPlytics.pdf
https://www.les-france.org/f/4efbed4cfbe6f2c63748ce1203f075bee2e294bf/The%20EU%20SEP%20Regulation%20and%20Empirical%20Evidence%20on%20SEP%20Licensing%20Challenges_TP_IPlytics.pdf
- 13 23 <https://www.patsnap.com/customers/takasago/>
<https://www.patsnap.com/customers/takasago/>
- 14 <https://patent-i.com/ja/news/85/>
<https://patent-i.com/ja/news/85/>
- 15 17 26 72 78 92 96 <https://www.patsnap.com/resources/blog/articles/patsnap-eureka-life-science-research-2025/>
<https://www.patsnap.com/resources/blog/articles/patsnap-eureka-life-science-research-2025/>
- 16 75 <https://www.patsnap.com/products/eureka/?from=tech-seo-search>
<https://www.patsnap.com/products/eureka/?from=tech-seo-search>
- 18 <https://patcore.com/product/patsnap>
<https://patcore.com/product/patsnap>
- 19 <https://www.patsnap.com/resources/blog/articles/7-best-patent-search-tools-for-ip-pros-in-2026/>
<https://www.patsnap.com/resources/blog/articles/7-best-patent-search-tools-for-ip-pros-in-2026/>
- 20 66 <https://lesi.org/article-of-the-month/advanced-citation-analysis-can-help-identify-licensing-candidates/>
<https://lesi.org/article-of-the-month/advanced-citation-analysis-can-help-identify-licensing-candidates/>
- 21 22 51 <https://www.patsnap.com/customers/oxiteno/>
<https://www.patsnap.com/customers/oxiteno/>
- 24 67 70 <https://www.ambercite.com/amberblog/track-your-competitors-cyrge>
<https://www.ambercite.com/amberblog/track-your-competitors-cyrge>
- 25 <https://www.patsnap.com/customers/elica-spa/>
<https://www.patsnap.com/customers/elica-spa/>
- 27 28 90 94 <https://tda.panasonic-europe-service.com/docs/2z693e0d3az1z371aez656ez706466z24z612c84a9a4c72d148b88d7bf8968e44582f729bb/tsn3/data/ALL/DMCFZ200EG/OI/893485/vqt4h75.pdf>
<https://tda.panasonic-europe-service.com/docs/2z693e0d3az1z371aez656ez706466z24z612c84a9a4c72d148b88d7bf8968e44582f729bb/tsn3/data/ALL/DMCFZ200EG/OI/893485/vqt4h75.pdf>
- 30 87 <https://about.lens.org/individual-commercial-use/>
<https://about.lens.org/individual-commercial-use/>
- 31 33 80 <https://clarivate.com/intellectual-property/derwent/patent-search/>
<https://clarivate.com/intellectual-property/derwent/patent-search/>
- 32 https://cpa-global.my.site.com/Patents/s/article/Derwent-Innovation-ThemeScape-Enhancements?language=en_US
https://cpa-global.my.site.com/Patents/s/article/Derwent-Innovation-ThemeScape-Enhancements?language=en_US
- 34 https://www.jpo.go.jp/news/koho/kohoshi/vol44/04_page2.html
https://www.jpo.go.jp/news/koho/kohoshi/vol44/04_page2.html

⁶⁰ <https://support.lexisnexisip.com/hc/en-us/categories/21316331532819-Iplytics>

<https://support.lexisnexisip.com/hc/en-us/categories/21316331532819-Iplytics>

⁶² <https://ecapital.vc/news/iplytics-the-ai-startup-tackling-patent-analytics-raises-several-millions-in-financing/>

<https://ecapital.vc/news/iplytics-the-ai-startup-tackling-patent-analytics-raises-several-millions-in-financing/>

⁶³ <https://www.eu-startups.com/2019/03/berlin-based-market-intelligence-platform-iplytics-raises-millions-to-disrupt-patent-analytics/>

<https://www.eu-startups.com/2019/03/berlin-based-market-intelligence-platform-iplytics-raises-millions-to-disrupt-patent-analytics/>

⁶⁵ ⁶⁸ <https://inspire.wipo.int/ambercite-ai>

<https://inspire.wipo.int/ambercite-ai>

⁷³ <https://help.patsnap.com/hc/en-us/articles/8751625626397-Eureka-by-Patsnap-FAQ>

<https://help.patsnap.com/hc/en-us/articles/8751625626397-Eureka-by-Patsnap-FAQ>

⁷⁴ <https://www.patsnap.com/products/analytics/>

<https://www.patsnap.com/products/analytics/>

⁸⁶ <https://www.twobirds.com/-/media/pdfs/the-bmwi-should-not-rely-on-the-iplytics-5g-report-to-understand-5g-technology-leadership.pdf>

<https://www.twobirds.com/-/media/pdfs/the-bmwi-should-not-rely-on-the-iplytics-5g-report-to-understand-5g-technology-leadership.pdf>